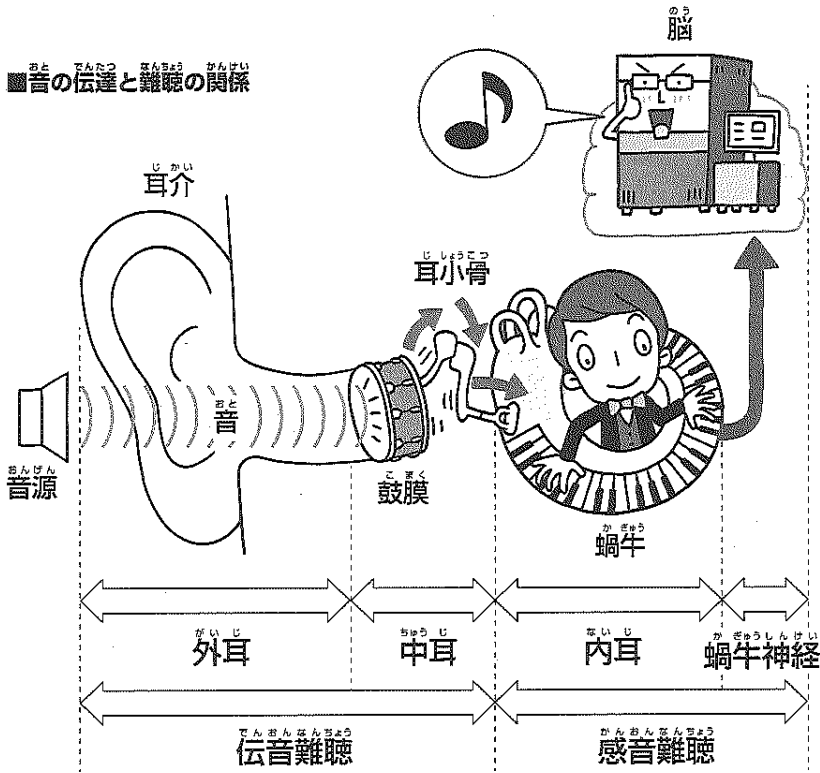


# 担任の先生へ

## 聴覚に障害のある子どもについて

### ◎聴覚障害とは

〇きこえのしくみについて



#### 伝音難聴

(でんおんなんちょう)

外耳と中耳のはたらきに問題があって、おこる難聴。音が小さい聞こえるけれど、ゆがんでは聞こえません。多くの場合、治療をすれば聞こえがよくなります。

#### 感音難聴

(かんおんなんちょう)

内耳や蝸牛神経の働きに問題があって、おこる難聴。音が小さく、ゆがんで聞こえます。

#### 混合難聴

(こんごうなんちょう)

伝音難聴と感音難聴の両方の聞こえにくさがある難聴のことです。

出典：『耳と補聴器のひみつ』学研

〇テレビ・身の周りの音・会話の声や自分の声などが聞こえにくいことによって

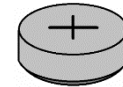


このような二次的障害が心配されます。

## ○補聴器について

補聴器は、聴覚障害のある子どもたちにとって大変便利な機械ではありますが、しかし、周りの子どもたちと同じように聞こえているわけではありません。自分の聞きたい音も大きくしますが、雑音も同じように大きくするのです。

なお、急に聞き取りが悪くなった場合は、補聴器の電池が切れてしまったことも考えられます。本人に確認させ、電池を取り替えさせてください。



## ◎担任の先生にお願いしたい配慮事項

聴覚に障害のある児童は、聴力が厳しくなればなるほど補聴器から入るかすかな音と口の形や動きを手がかりに話を理解します。

### ① やや大きめの声で、はっきりと短めの文体でお話してください。

話題やキーワードを視覚的に示すと理解しやすくなります。特に授業中では板書のメモなどが効果的です。

### ② 大事な内容や要点を話す時は、本人の視線を確かめながらお話してください。

他の子供たちへも、必ず本人の顔を見ながら話したり・聞いたりするようにしてお話ください。



### ③ 話の内容を本人が理解しているかどうか確認してください。

### ④ 望ましい座席の位置は、中央から2～3番目あたりが良いです。

先生の顔や他の子供たちの様子が見やすい所です。でも、ケースバイケースです。

### ⑤ クラスの子供たちへ、耳の聞こえの悪いことや補聴器のこと等を説明してあげてください。

きこえとことばの教室では、難聴がいるお子さんがいるクラスに難聴理解授業をクラス替えがある年度のはじめに行っています。

### ⑥ 机や椅子の脚にテニスボールを取り付けてください。



騒音がかなり軽減されます。是非、テニスボールを取り付けることをご検討ください。

## ○水泳指導について

補聴器は、水に大変弱い機械です。そのため補聴器をはずして（教室または更衣室から）水泳に参加します。いつも以上に聞こえにくい状況にありますので、文字提示や身振りを加える等、指示の出し方にご配慮をお願いいたします。

また、家庭で補聴器の付け外しや保管の仕方について練習をしますが、学級で補聴器の管理が自分でできているか確認してください。



## ◎きこえとことばの教室では

個別・グループ学習を通して、豊かなコミュニケーションがとれるように指導を行います。具体的には・・・

- ・日常生活での聞こえの様子や聴力検査等により、聴力管理を行う。
- ・補聴器を活用して、音やことばを聞き分ける・聞き取る・聞いて考える等の力を付ける。
- ・発達段階に応じて自分の障害を正しく理解し、認識を深めさせる。
- ・語彙、構文力、読解力等の言語力を伸ばす。
- ・グループ学習の中で、協調性や社会性を育てる。

そして、在籍学級・家庭・きこえとことばの教室の三者がしっかり連携し、子供たちがいきいきと自己実現できるように支援していきたいと考えています。